



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)海洋電子工業 北館新築工事	階数	地上6F
建設地	横浜市金沢区鳥浜町12-50, 12-51, 12-52, 12-81	構造	S造
用途地域	工業地域、法第22条区域	平均居住人員	220 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年11月 竣工	評価の実施日	2019年12月18日
敷地面積	1964.09(仮想敷地) m ²	作成者	松本拓也
建築面積	497 m ²	確認日	2019年12月19日
延床面積	2,668 m ²	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・サービス性能に配慮している。 ・敷地内外環境に配慮している。 ・資源、マテリアルの確保に努めている。 		
Q1 室内環境 ・対象外	Q2 サービス性能 ・給水管: VB、排水管: VP、通気管: VP、Eは不使用 ・壁長さ比率0.22	Q3 室外環境(敷地内) ・緑地、屋上緑地設置 ・フェンス設置で防犯性に配慮している
LR1 エネルギー ・特に無し	LR2 資源・マテリアル ・リサイクル材を採用している ・防水工事のプライマーを採用している。 ・グラスウール採用等、発泡剤を用いた断熱材を採用していない。	LR3 敷地外環境 ・ガス設備設置無し等、大気汚染防止に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

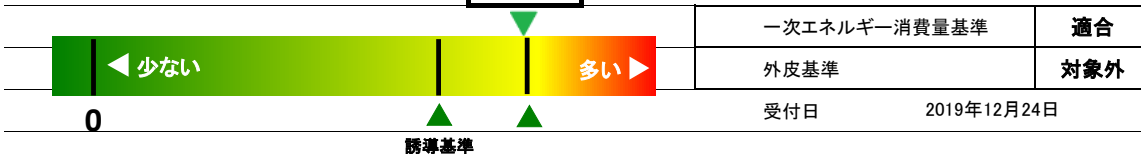
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)海洋電子工業 北館新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **0** %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【快適・働きやすさ】 4**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

⑭空地率74.71%・中・高木、ピロティ水平投影面積52.23%・緑被率、水比率、中・高木の水平投影面積率96.01%

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰給水管:VB、排水管:VP、通気管:VP、Eは不使用

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7
(仮称)海洋電子工業 北館新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
			<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
			配慮項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 騒音									
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
1 室温 快適・働きやすさ ⑨温熱環境									
2 外皮性能 快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能									
3 ソーン別制御性 快適・働きやすさ ⑨温熱環境									
2.2 湿度制御 快適・働きやすさ ⑨温熱環境									
2.3 空調方式 快適・働きやすさ ⑨温熱環境									
3 光・視環境									
3.1 屋光利用									
1 屋光率 快適・働きやすさ ⑩光環境									
2 方位別開口 快適・働きやすさ ⑩光環境									
3 屋光利用設備 快適・働きやすさ ⑩光環境									
3.2 グレア対策									
1 屋光制御 快適・働きやすさ ⑩光環境									
3.3 照度 快適・働きやすさ ⑩光環境									
3.4 照明制御 快適・働きやすさ ⑩光環境									
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
1 化学汚染物質 快適・働きやすさ ⑪空気質環境									
4.2 換気									
1 換気量 快適・働きやすさ ⑪空気質環境									
2 自然換気性能 快適・働きやすさ ⑪空気質環境									
3 取り入れ外気への配慮 快適・働きやすさ ⑪空気質環境									
4.3 運用管理									
1 CO ₂ の監視 快適・働きやすさ ⑪空気質環境									
2 喫煙の制御 快適・働きやすさ ⑪空気質環境									
Q2 サービス性能									
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性 快適・働きやすさ ⑫機能性									
2 高度情報通信設備対応 快適・働きやすさ ⑫機能性									
3 バリアフリー計画 快適・働きやすさ ⑫機能性									
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観 快適・働きやすさ ⑫機能性									
2 リフレッシュスペース 快適・働きやすさ ⑫機能性									
3 内装計画 快適・働きやすさ ⑫機能性									
1.3 維持管理									
1 維持管理に配慮した設計 快適・働きやすさ ⑫機能性									
2 維持管理用機能の確保 快適・働きやすさ ⑫機能性									
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震									
1 耐震性 防 災 ⑮耐震・免震 3.0 0.80									
2 免震・制振性能 防 災 ⑮耐震・免震 3.0 0.20									
2.2 部品・部材の耐用年数 3.2 0.30									
1 躯体材料の耐用年数 防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上 3.0 0.20									
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔 防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上 2.0 0.20									
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上 3.0 0.10									
4 空調換気ダクトの更新必要間隔 防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上 3.0 0.10									
5 空調・給排水配管の更新必要間隔 防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上 5.0 0.20									
6 主要設備機器の更新必要間隔 防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上 3.0 0.20									
2.4 信頼性 2.8 0.20									
1 空調・換気設備 防 災 ⑰信頼性 3.0 0.20									
2 給排水・衛生設備 防 災 ⑰信頼性 2.0 0.20									
3 電気設備 防 災 ⑰信頼性 3.0 0.20									
4 機械・配管支持方法 防 災 ⑰信頼性 3.0 0.20									
5 通信・情報設備 防 災 ⑰信頼性 3.0 0.20									
3 対応性・更新性									
3.1 空間のゆとり 3.1 0.50									
1 階高のゆとり 3.4 0.30									
2 空間の形状・自由さ 3.0 0.60									
2 空間の形状・自由さ 4.0 0.40									
3.2 荷重のゆとり 3.0 0.30									
3.3 設備の更新性 3.0 0.40									
1 空調配管の更新性 3.0 0.20									
2 給排水管の更新性 3.0 0.20									
3 電気配線の更新性 3.0 0.10									
4 通信配線の更新性 3.0 0.10									
5 設備機器の更新性 3.0 0.20									

CASBEE[®] 横浜 | 評価結果 | 31-123



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 (仮称)海洋電子工業 北館新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-		



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 (仮称)海洋電子工業 北館新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		Q3 室外環境(敷地内)		-	0.57	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり ⑩生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	2.0		
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり ⑨まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-	2.0		
3 地域性・アメニティへの配慮		3.5	0.30	-	-	3.5		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり ⑫地域性への配慮	3.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ ⑭敷地内温熱環境の向上	4.0	0.50	-	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	2.7		
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	2.3		
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能 ①建物の熱負荷抑制	-	-	-	-	-		
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能 ②自然エネルギー利用	3.0	0.13	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能 ③設備システムの高効率化	2.0	0.63	-	-	2.0		
4 効率的運用		3.0	0.25	-	-	3.0		
集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
集合住宅の評価		-	-	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能 ④効率的運用	-	-	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能 ④効率的運用	-	-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.9		
1 水資源保護		2.2	0.20	-	-	2.2		
1.1 節水		1.0	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減		2.8	0.60	-	-	2.8		
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避		4.0	0.20	-	-	4.0		
3.1 有害物質を含まない材料の使用		4.0	0.30	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	-		
1 消火剤		-	-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)		5.0	0.50	-	-	-		
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	-		
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.1		
1 地球温暖化への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0		
2 地域環境への配慮		3.3	0.33	-	-	3.3		
2.1 大気汚染防止		5.0	0.25	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.3	0.25	-	-	-		
1 雨水排水負荷低減		-	-	-	-	-		
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	-		
3 交通負荷抑制		1.0	0.33	-	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	-		
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-		
1 騒音		3.0	1.00	-	-	-		
2 振動		-	-	-	-	-		
3 悪臭		-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	-		
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-		
2 砂塵の抑制		-	-	-	-	-		
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-		
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	-		
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-		
上記以外の重点項目				-	-	-		
<事務用途>				-	-	-		
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ ⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-		
<住宅用途>				-	-	-		
健康と安心				-	-	-		
1 化学汚染物質の対策	健康・安心 ⑥健康対策	-	-	-	-	-		
2 適切な換気計画	健康・安心 ⑥健康対策	-	-	-	-	-		
3 結露・カビ対策	健康・安心 ⑥健康対策	-	-	-	-	-		
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心 ⑦防犯対策	-	-	-	-	-		